

## 現状

- 人口減少が進む中で「コンパクト化」「官民連携」「エリアマネジメント」が重要なテーマとなっている
- 専門化、高度化、多様化するまちづくりに、従来の行政主導型では対応できなくなっている
- 先進地では専門家が常駐するアーバンデザインセンター（UDC）等がまちづくりを牽引

## 課題

- まちづくりの主体となる市町村に専門的なスキルを持った「まちづくり人材」が不足
- 専門家を常駐させるUDC等を県内の市町村が単独で設置することは困難



**「広域的な視点」「多様な視点」「専門的な視点」で、市町村のまちづくりを支援する、  
公・民・学連携の組織「信州地域デザインセンター」を本年度前半に開設予定**

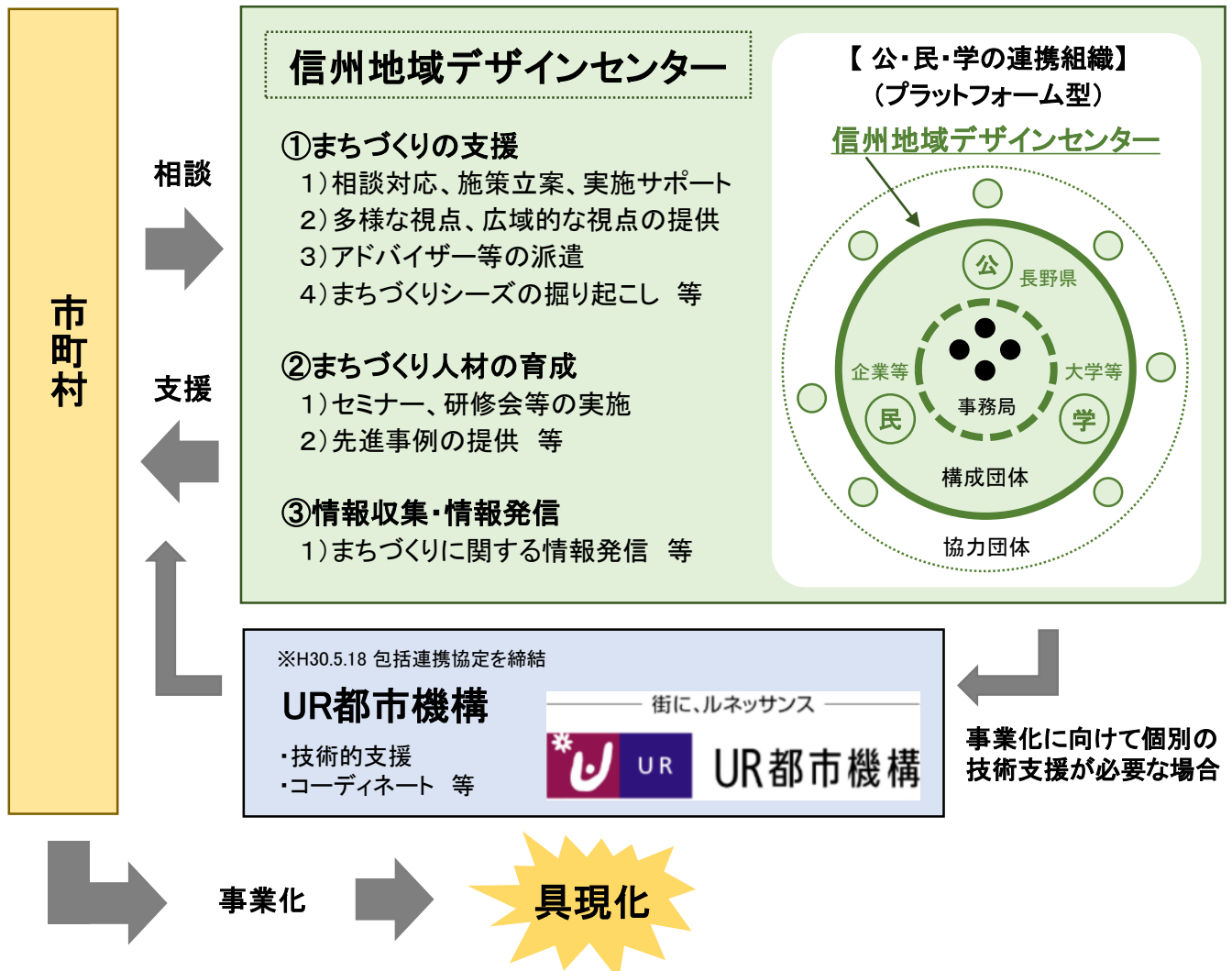
## 信州地域デザインセンター

### ○基本理念

未来に続く魅力あるまちづくりの実現  
～「快適なまち」「賑わいのあるまち」「持続可能なまち」づくり～

### ○体制及び事業内容

事務局としてまちづくりの専門家や県職員が常駐。構成団体や協力団体と連携しながら、日常的に「まちづくりの支援」を行うほか、主に行政職員を対象にした「まちづくり人材の育成」や県内外の情報共有するための「情報収集・情報発信」を行う。



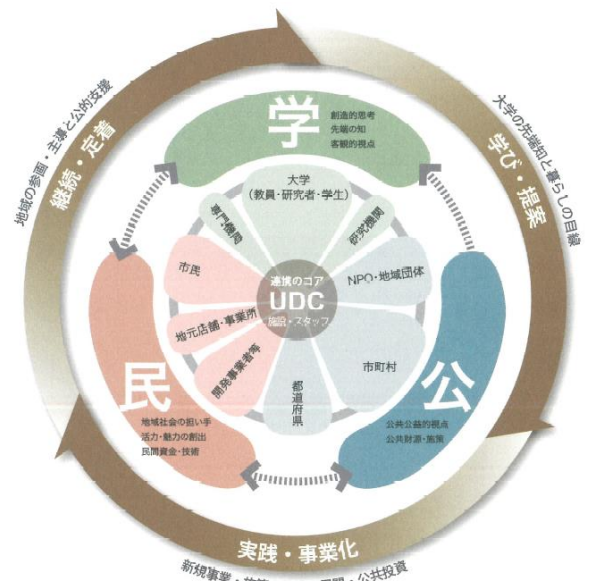
## アーバンデザインセンター（UDC）とは

- 産業、行政、大学の産・官・学ではなく、**NPO等も含む「公共」、市民や地域団体等も含む「民間」、大学生等も含む「大学」が連携する「公・民・学」**がUDCの目指す連携スキーム
- 行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に関わる各主体が連携し、**都市デザインの専門家が客観的な立場から携わる新たな形のまちづくり組織（拠点）**
- スタッフが固定されている従来のまちづくり会社等とは異なり、コアとなる専任スタッフが、プロジェクト毎に、公・民・学の構成団体の中から人材を集める**プラットフォーム型組織**

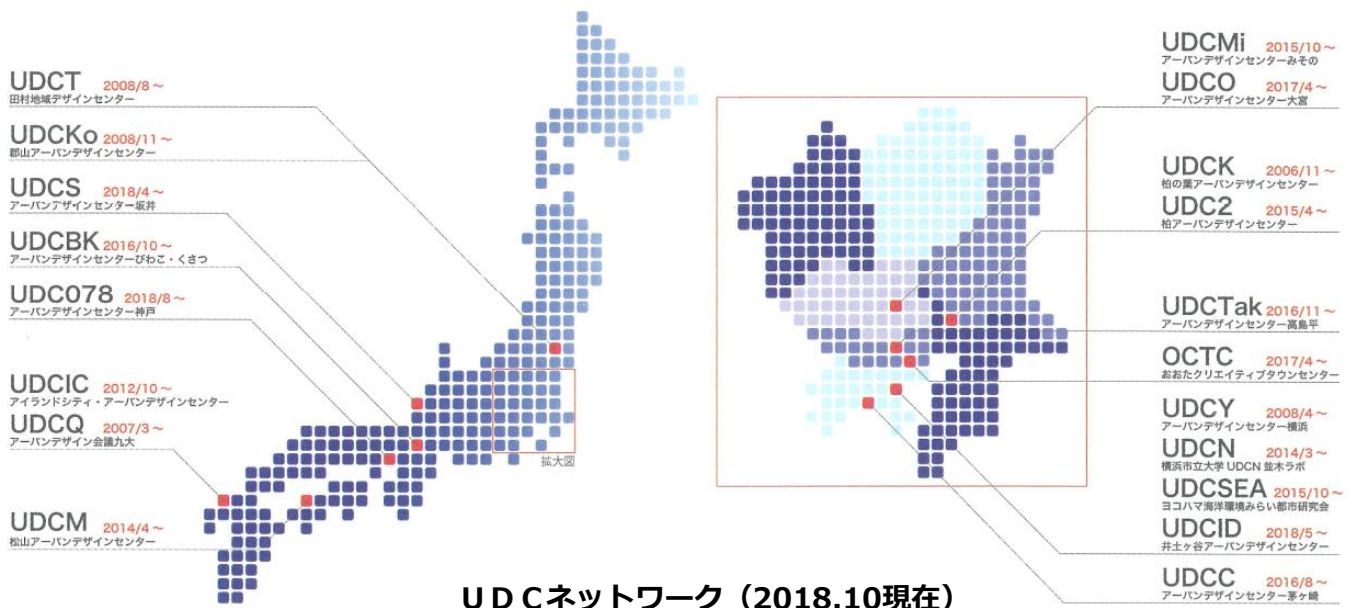
○2018.10現在、全国に19のUDCが設立

### ○UDCが共有する基本理念

- 1) 公・民・学連携の拠点となる
- 2) 明確な目標と戦略を打立て実行する
- 3) 常に具体のフィールドで活動する
- 4) 都市空間のデザインを担う専門家が主導する
- 5) 新しいアイデアに挑戦し続ける
- 6) 一人一人が活動をエンジョイする
- 7) 最新の情報を広く公開し、共有する
- 8) UDCネットワークを全国へ、そして世界へ



UDCの目指す公・民・学連携のスキーム



UDCネットワーク（2018.10現在）

## 担当・問い合わせ先

長野県 建設部 都市・まちづくり課（担当：高倉・中平・倉根）  
 〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2  
 TEL：026-235-7297 Mail：udc-shinshu@pref.nagano.lg.jp